

議題1 ビギナーズの会

対応方針

- ・コロナ状況に鑑み、いったん延期
- ・全会員に向けて告知（事務局）
- ・HPの修正（吉村さん、征矢さん）

主催者としてのレピュテーションリスクもさることながら、コロナ状況が厳しい中、参加者である自治体が参加できない可能性も大であることが判断理由。

議題2 神戸大学、船場経済倶楽部の講演

(1) 船場経済倶楽部 5/12 8:00 ~ 9:00 (講演は50分) リアル講演会

対応方針

- ・井垣さんが講演、陪席も可能
- ・吉村さんが作ってくださったPPTフォーマットをベースに資料を作成
- ・部会ページについては、神大用（後述）と同じで良いが、出席者である中堅中小企業の経営者が自分たちのビジネスにつながりそうだ、という感触を得られるように、発言原稿を工夫して作成する（部会リーダーが資料と発言原稿を作成）
- ・そもそも夢洲の状況を伝えるようなページは林が作成
- ・夢洲機構としては、本講演会を通じて会員増強も企図して誠意を込めて対応

背景

- ・船場経済倶楽部は中堅中小企業の社長などが多いが、万博、成長型IRなどについてご存知ない聴衆も多いであろうことから、夢洲に関する初歩的なことを説明した上で万博がいかに大阪の発展につながるか、自社のビジネスにもつながるか、ということ伝えるべきであろう
- ・また、ネットワークがある有力者も多いことから、丁寧に対応して、また夢洲機構の会員増加につながることも期待
- ・資料は投影のみでも可、配布も可。投影資料のうち一部だけを配布も可。

(2) 神戸大学 5/14 13:00 ~ 17:00 (講演は30分) 完全オンライン講演会

対応方針

- ・井垣さんが講演、その他は必要に応じて聴衆として聴講
- ・部会ページについては、船場経済倶楽部と同じで良いが、投影のみ（⇒聴衆は細かい資料

は見る事が出来ない) であることから文字で説明するよりもビジュアルに訴えて、絵、写真、図などを多用して伝わりやすい資料にする。また、万博の内容については、協会幹部、石川プロデューサーから話があるので、万博の基本的な内容は不要で、いかに夢洲機構が具体的で意義ある活動を行っているのかを分かってもらえるような内容にする。

- ・また、「未来社会の実験場」「SDGs」に関わるような内容を意識して、資料を作成する、もしくは発言原稿の中に織り込む。
- ・夢洲機構としての神戸とのネットワークに繋げることも意識する。

背景

- ・「第3回神戸大学 SDGs フォーラム 大阪・関西万博が導く未来 ～未来社会の実験場の実現を考える～」というフォーラムの一コマとして講演
- ・開会挨拶は藤澤学長、来賓挨拶は久元市長。講演者と順番は以下の通り。
森副事務総長 (30分)、石川プロデューサー (30分)、堺井局長 (30分)、井垣さん (30分)、角田氏 (30分、笹川平和記念財団海洋政策チーム長)

議題3 今後のセミナーについて

4/12	15:00~17:00	第6回セミナー
5/18	14:00~16:00	第7回セミナー
6/16	16:00~18:00	第8回セミナー

対応方針

- ・第7回、第8回は凸版印刷にて実施予定。
- ・6月は当初より時間に変更になっている点は注意。
- ・登壇者で事前打合せを実施した方が良い(石川さんより)、偉い方はスタッフでも良い。

議題4 WEBサイトの会員情報掲載

対応方針

- ・会員からの発信情報については、夢洲機構 TEAM EXPO2025 への取組の1つとしてHPに掲載していく(2025個の1つにしていく)
- ・HPのシステム対応については、引き続き吉村さん、征矢さんに確認、対応して頂く
- ・HPに掲載するためにはSDGsの何番に該当するかを合わせて掲示するが、会員の方でうまく処理できない(何番になるか分からない)場合は橋本さんでフォロー。

議題5 TEAM EXP02025 に関する対応

- ・吉村さんからメールをもらっていた項目（夢洲機構として、機構の活動の中でチャレンジ登録できそうなもののリスト）について、リーダーの了承が得られたことから、橋本さんから協会に提出してもらう。

その他

- ・特別会員名簿をリーダーに配布
- ・河内長野市と面談して、参加のためのネックを確認（河原さん）

（作成者：林）

以上